

一般質問 市政に望む

今回の定例会では、9月5日、6日、7日、10日、11日の5日間にわたり、32名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案をまじえながら、市長などの考えをたしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の様子はホームページで録画映像を配信中。



生ごみのメタン施設を求め！

渡辺 巖太郎 (まちだ新世紀)

町田の可燃ごみの大半は水分を多く含む生ごみで、水気を飛ばす為に大量の火力エネルギーが使われている。単に生ごみを燃すのではなく、バイオガスを抽出して災害時にも独自で発電可能なメタン化施設が有用と考えるが。

市長 新たなごみ資源化施設について二〇二〇年度に稼働させることを目指しています。災害時にも地域の町づくりに貢献できるごみ資源化施設が求められており、送電がとまった場合、発電できる機能、再起動ができることも必要だろうと思っています。

防災安全担当部長 災害時応援協定締結自治体を増やすべきだが。

環境資源部長 事業者への補助は可能性を検討したい。

E.V購入の補助創設の予定はありませんがE.V以外のところでフォローしていきたい。公共施設の屋根貸しにおける



再生可能エネルギーへの対応を

友井和彦 (諸派)

再生可能エネルギーについて市民への太陽光発電システム購入補助に加え、事業者への購入補助、蓄電池としてのE.V車の購入補助、屋根貸し場所貸しで公募設置を。

図書館担当部長 駅だけでなく、予約資料の受け渡し拠点や、その中で駅等の活用が出来るか研究したい。

大学図書館との連携については大学の意向を確認し、その内容を研究していきます。



参加して良かった介護予防を！

宮坂けい子 (公明党)

体の機能が弱っている方々が、介護予防で元気になるために、ニーズの調査や効果的な予防プログラムや、六五歳到達時に介護予防事業の案内の送付等の工夫を求める。

環境資源部長 今たくさん事例が出てきていますので、さまざまな手法の研究を積極的に進め、検討していきたい。

建設部長 高齢者の講習会等について、どのような配布の仕方があるか、検討をしていきたいと思っています。



町田でパブリックビューイング

河辺康太郎 (民主党・社民・ネット)

町田市にゆかりのあるチームや選手が注目の高い大会等で活躍する時には市でも応援のためパブリックビューイングを開催してはどうか。

子ども生活部長 機関車本体の部品の調達はかなり困難をきわめると聞いています。

修繕については、今までもしきたつもりですが、これからは計画的に進めていきたいと考えています。



女性を標的にしたチラシ配り

上野孝典 (公明党)

東急ツインズ付近で女性を標的にしたチラシ配り等が横行している。実態の把握と対策が急務と考えるが。

子ども生活部長 すべての児童保育クラブで四年生以上の受け入れを実施することは困難であり、平等性を確保する観点から現段階では難しい状況と考えています。

新庁舎前のバス停に屋根とイスの設置を求める。都市づくり部長 屋根はバス事業者と協議していきます。



生活保護不正受給対策について

おさむら敏明 (志政クラブ)

商店街は地域コミュニティの担い手、地域住民の生活の利便を高める支援策を。

障がい者や高齢者、子ども、また、子どもを連れた親など、あらゆる市民が、安心して楽しめる公園整備を。

都市づくり部長 安全性の面から今後交通管理者などとも相談をする、もしくは公園側で何か整備もしくは改善できることがあれば、そういうものも早目に対応していきたいと考えています。



認知症施策の方向性について

佐藤和彦 (民主党・社民・ネット)

認知症高齢者が住み慣れた自宅や施設で安心して暮らせる環境づくりをどのように行っていくのか。

地域福祉部長 状況に応じて障害者自立支援法に基づく社会復帰支援施設等の利用を行っていただくことで対応していきたいと考えています。

子ども遊び場確保について市長の考えは。市長 基本的な理念を押さえて一定程度公園の規制等を冒険遊び場にすり合わせる検討が必要だと考えています。



竹島・尖閣問題と憲法について

大西宣也 (自由民主党)

竹島や尖閣諸島問題をどのように評価しているのか。

市長 そういふ認識はございません。

防災無線は犯罪抑止や交通事故防止に活かせないか。

消防栓の活用を。

消防栓の活用を。

消防栓の活用を。



水の確保と活用

おくら一 (公明党)

災害時の飲料水確保ならびに初期消火の為に、消防栓・排水栓の活用を。

消防栓の活用を。

消防栓の活用を。



通学路点検

山下てつや (公明党)

通学路点検の実施状況と今後の取り組みについて問う。

防犯のまちづくり推進のため、全庁的に取り組むべき指針の策定をすべきと考えるがどうか。

防災安全担当部長 東京都の安全・安心まちづくり条例や「東京都安全・安心まちづくり有識者会議報告書」などを参考に研究していきたいと考えています。